



今日のトピック 好調続くハイールド債市場

米景気のソフトランディング期待が追い風

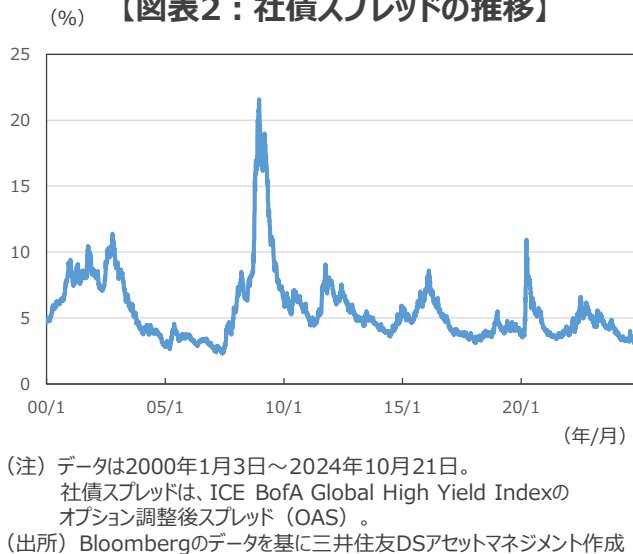
ポイント1 ハイールド債指数は最高値を更新

- ハイールド債（ダブルB格以下の低格付け社債）市場が好調です。米インターコンチネンタル取引所（ICE）が算出するグローバル・ハイールド債の代表的な指数は、今年の7月以降一段高となり、過去最高値を更新しています。同指数の年初来リターンは、足元で+7.9%となっています（10月21日時点）。
- ハイールド債の好パフォーマンスの要因は、高いクーポン収入に加え、米連邦準備制度理事会（FRB）が4年半ぶりに利下げを実施し、金融引き締めからの転換に動いたことによる債券利回りの低下（債券価格の上昇）と、企業の信用リスクを表す社債スプレッド（国債利回りに対する上乗せ金利）の縮小（債券価格の上昇）です。
- 足元のグローバル・ハイールド債の利回りは7.1%台と、ベースとなる米国債利回りが低下したことを受けて、6月末の7.9%台から大幅に低下しました。また、社債スプレッドは3.0%台と、2007年7月以来の低い水準に縮小しています。
- 社債スプレッドが歴史的に低い水準まで縮小している背景には、FRBによる利下げ開始に伴い米景気のソフトランディング（軟着陸）期待が高まっていることがあります。景気の底堅さを背景に企業業績は好調な状況が続いており、過去の景気減速局面と比べ、社債の発行体の信用力が安定しています。このため国債よりも高い利回りが期待できる社債に対する投資家の需要が強まり、ハイールド債のスプレッドの縮小につながっているとみられます。

【図表1：ハイールド債指数の推移】



【図表2：社債スプレッドの推移】



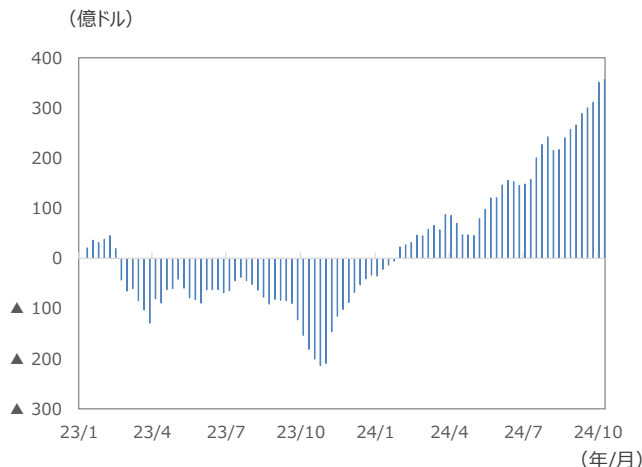
■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。



ポイント2 投資マネーが流入するハイイールド債市場

- 債券の利回りが依然として高水準にあるなか、景気が底堅く推移し、債務不履行（デフォルト）件数が低位に推移する状況下、投資マネーがハイイールド債市場に大きく流入しています。
- 米調査会社EPFRによると、昨年11月以降、世界のハイイールド債ファンドへの資金流入が拡大しています。24年の資金流入額は足元（10月9日）までの累積で389億ドル（約5.8兆円）に達しました。市場でFRBの利下げ観測が強まった7月以降は資金流入の勢いが加速しています。
- ハイイールド債は、過去20年のリスク・リターン特性の観点でみると、リターン/リスク（リスクに見合うリターンが得られたかを示す指標）が0.63と、世界株式（0.56）や世界国債（0.27）と比較して優位にあります。この点も投資家がハイイールド債を選好する動きを強めている要因とみられます。

【図表3：ハイイールド債ファンドへの資金フロー】



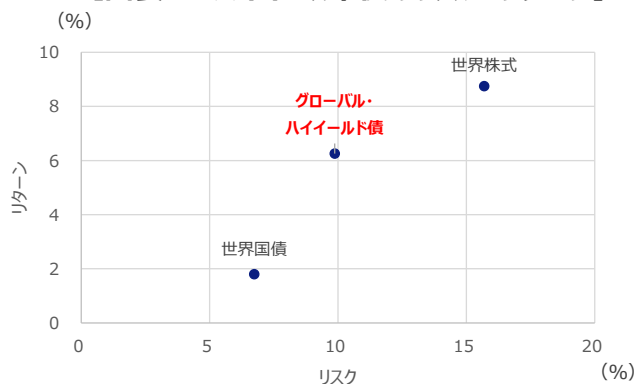
(注) データは2023年1月4日～2024年10月9日。週次。
2023年1月4日を基準に累積。
(出所) EPFRのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開

米景気のソフトランディング 期待が追い風

- ハイイールド債をめぐる好環境は今後も続きそうです。弊社は、FRBが雇用と物価を睨みながら、緩やかなペースで利下げを続けると予想しています。FRBは景気を熱しも冷ましもしない中立金利を3%程度に置いているとみられ、現在4.75%～5.00%の政策金利を26年にかけて3%近辺まで引き下げると想定しています。米利下げ局面入りに伴い米長期金利は緩やかに低下すると予想しています。
- また、弊社は、FRBの利下げ継続により米景気はソフトランディングすると見込んでいます。このため、企業の信用力は大きく悪化はせず、社債スプレッドは比較的 low水準で推移するとみています。こうした環境下では、投資家のリスク選好姿勢が強まりやすく、ハイイールド債への資金流入が続くとみられます。

【図表4：ハイイールド債のリスク・リターン】



(注1) データは2004年10月～2024年9月。
(注2) 世界株式はMSCI AC World Index（配当込み）、グローバル・ハイイールド債はICE BofA Global High Yield Index、世界国債はFTSE世界国債インデックス、米ドルベース。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフリサーチストラテジスト
石井康之（いしい やすゆき）

ここも チェック!

2024年9月20日 4年半ぶりの利下げを受けた米投資適格社債市場
2024年5月31日 好環境にある米投資適格社債市場

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。